

専門学校 東京声優・国際アカデミーは、学校関係者評価委員による令和7年度自己点検・評価を実施し、学校運営に対するご意見をいただくことで、継続的な改善を図ることを目的として評価を行いましたので、下記の通りご報告いたします。

1. 実施日

令和8年5月19日(火)14:00～16:00(本校教室にて)

2. 学校関係者評価委員

小林 一之	(学識経験者)
福原 洋	(教育関係者)
山田 路津子	(行政書士／法務実務専門家)
石井 裕二	(企業関係者)
金沢 真澄	(企業関係者)

<学校教職員>

奥村 拓真	(校長)
大和 奈波	(教務部 課長)
伊藤 紀子	(総務部 課長)
宮入 裕次郎	(教務部)
林 ひとみ	(総務部)

(2026年4月1日現在)

【評価】

自己点検 項目	小項目	自己点検結果	評価委員結果
基準1 教育理念・目的・目標	1-1 教育理念、目的及び目標の設定	2	2.3
基準2 教育課程、教育の実施、学修成果	2-1 教育課程の編成と授業科目	2	2.0
	2-2 教育課程の実施	2	2.0
	2-3 単位・卒業認定	2	2.0
	2-4 学修成果目標の達成状況	2	2.7
基準3 学生の受入れ、学生支援	3-1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	3	2.7
	3-2 多様な学生に対する修学支援	2	2.7
	3-3 学生生活に関する支援	2	2.3
基準4 教員・教育実施組織	4-1 教員の配置、募集、採用	2	2.3
	4-2 教員の組織編制等	2	2.3
	4-3 教員の資質の向上	2	2.3
基準5 教育環境	5-1 教育環境の整備点検、改善等	1	2.3
	5-2 安全対策、防災組織	2	2.0
基準6 教育活動の基盤と情報の公表	6-1 中期事業計画と財務基盤	2	2.3
	6-2 学校運営	2	2.3
	6-3 学校評価の実施と改善活動	2	2.3
	6-4 社会からの理解と情報の公表	2	2.0

【学校関係者評価・提言】

自己点検 項目	小項目 提言
基準1 教育理念・目的・目標	1-1 教育理念、目的及び目標の設定
	ホームページ上分かり易く表示すべき。 留学生には英文化が必要か。 卒業生の進路状況が確認でき、実際どのような企業に就職したか明確にわかり、教育理念の目的の基準を満たしていると判断した。
	基準2 教育課程、教育の実施、学修成果
	2-1 教育課程の編成と授業科目
基準2 教育課程、教育の実施、学修成果	国際的就職者は通訳関連が主体。その他の職種も勘案しカリキュラムの再検討が必要かと思う。 留学生の就職に必要な授業は概ね基準を満たしていると判断できるが、その後授業で得た知識を生かしてスキルにつながる授業の有無の判断が難しいと感じた。
	2-2 教育課程の実施
	自己評価に同意 国際コミュニケーション学科については、企業連携をさらに増やして内定を取りやすくするとよい。
	2-3 単位・卒業認定
基準2 教育課程、教育の実施、学修成果	自己評価に同意 留学生は卒業時にJLPT3までは取得してほしいと切に願う。その上で別途、公的資格、民間検定にチャレンジしたほうが内定が取りやすいかと思う。
	2-4 学修成果目標の達成状況
	自己評価に同意 留学生は目標までの計画の立て方が上手ではない人が多いので、管理してあげるサイクルを構築して欲しい。

自己点検 項目	小項目 提言
基準3 学生の受入れ、学生支援	3-1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理
	留学生の日本語レベル基準等が改善されていると感じた。 当面の課題として新学科への周到な準備が必要。 生徒も年々増加し、活気が出て、かつサポート体制もしっかりされていると感じた。
	3-2 多様な学生に対する修学支援
	声優養成科で培われた学生対応に関しては高いノウハウを持っていると思う。 基準を満たして入ると思うが、国に偏りが若干あるようには感じる。そもそも留学生の分母に偏りがあるのでしょうかから難しいとは思う。
	3-3 学生生活に関する支援
	声優養成科で培われた学生対応に関しては高いノウハウを持っていると思う。 少人数という事もあり対応は行き届いていると推察する。
基準4 教員・教育実施組織	4-1 教員の配置、募集、採用
	特に問題なし
	4-2 教員の組織編制等
	特に問題なし
基準5 教育環境	4-3 教員の資質の向上
	特に問題なし
	5-1 教育環境の整備点検、改善等
パソコン等メディア関連機器の充実が更に必要か。	
5-2 安全対策、防災組織	
建物の老朽化等問題もあるが、問題発生時に都度対応は出来ている。	
基準6 教育活動の基盤と情報の公表	6-1 中期事業計画と財務基盤
	新たなコース設計が華開くことが期待できる。 新学科の創設を軸とした、安定的な収益増加に向けた具体的な検討が課題となっている。
	6-2 学校運営
	特に問題なし
	6-3 学校評価の実施と改善活動
	特に問題なし
	6-4 社会からの理解と情報の公表
ホームページの中身は定期的に更新したほうが良いかと思う。	